

ひと駅歩こうコース

コース概要 ● 約 1.9km 約 2,710 歩 所要時間：約 29 分 消費カロリー：約 87kcal

ひと駅歩いてもうひと頑張りコース

コース概要 ● 約 4.3km 約 6,140 歩 所要時間：約 65 分 消費カロリー：約 195kcal



「健康のために、ひと駅あるこう」と言うけれど、ひと駅って？
東大和市駅から玉川上水駅まで、野火止用水・玉川上水を辿ってひと駅踏破。
実際歩いて実感しましょう。
もうひと頑張りやで戦災遺跡の変電所の見所もある、ひと駅歩こうコース2選

① 青梅橋跡 (市指定文化財)

承応 4 (1655) 年、野火止用水と青梅街道が交差する地点に橋が架けられました。その橋は「青梅橋」と名付けられ、この付近一帯は青梅橋と呼ばれるようになりました。
東大和市駅も昭和 54 (1979) 年までは青梅橋駅という駅名でした。昭和 38 (1963) 年、野火止用水は道路下を通る暗渠となり青梅橋は撤去されました。
現在は、庚申塔の祠と「阿を免はし」と刻まれたコンクリート製の親柱が残されており、市の文化財に指定されています。



② 東京都薬用植物園

昭和 21 (1946) 年設立以来、業務行政の一環として、薬用植物を収集・栽培、植物鑑別等の試験検査、調査研究を行うほか、薬用植物の正しい知識の普及に努めています。
無料で入場できる園内は、12 の植物区と林地、栽培試験区に分かれています。

平成 22 (2010) 年には、都民が体験的に学び交流する憩いの場として「ふれあいガーデン」を新設、ボランティアが栽培区で薬用植物や薬木の栽培管理作業を行っています。
また、ログハウス風の「草星舎」では植物苗、書籍、手作りの絵葉書やふきん、ポプリや木、革、布製品などの販売のほか、イベントも随時開催しています。



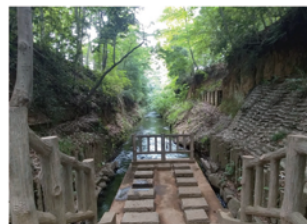
こもれびの足湯



東大和市駅から玉川上水駅への道すがらに、足湯施設「こもれびの足湯」があります。深さ 250m の井戸から汲み上げた天然地下水が、ごみ焼却炉の余熱でお湯になり、足湯施設に注がれています。愛称の「こもれびの足湯」は、公募作 203 件の中から選ばれたものだそうです。武蔵野美術大学の学生がデザインした手ぬぐい (200 円) とタオル (100 円) も販売されています。
休場日は、毎週木曜日 (祝日の場合は次の平日)、年末年始、焼却施設の点検日です。

③ 上水小橋 (玉川上水)

承応 2 (1653) 年、老中の川越藩主・松平信綱により、多摩の羽村から四谷まで全長約 43km に及び玉川上水が開削されました。工事を請け負ったのが、功績によりその姓を賜った「玉川兄弟」でした。
かつては新宿の淀橋浄水場まで多量の水が送水されていましたが、昭和 40 (1965) 年の浄水場廃止に伴い送水が停止され流れが途絶えてしまいました。昭和 61 (1986) 年に東京都の清流復活事業により流水が復活、平成 11 (1999) 年には玉川上水を歴史環境保



全地域に指定し、歴史的価値の高い水路や自然環境、水辺環境などを保全することになりました。
玉川上水駅のやや東にある水道局小平監視所の放流地点には、「玉川上水・清流の復活」という石碑と、「上水小橋」と呼ばれる人道橋が架けられ、玉川上水本流まで降りることができる数少ない場所になっていて、開削当時と同じ赤土の壁面など堀の様子が見取れます。

④ 都立東大和南公園 (イベント)

ここでは、東大和南公園で行われるイベントについてご紹介します。
東大和南公園では、毎年 4 月に「うまかんべえ〜祭」、8 月には「平和市民のつどい」を行っています。
「うまかんべえ〜祭」は、地元食材を使用したグルメコンテストが主役のイベントです。
「平和市民のつどい」は、変電所前の平和広場で戦争のない恒久平和を願うイベントです。



A 旧日立航空機株式会社変電所

(→ P. 2 をご参照ください)

⑤ 桜街道 (→ P. 33 をご参照ください)



ゆりーと像

「スポーツ祭東京 2013」(国民体育大会)において、東大和市はボウリング競技の会場となりました。大会マスコットキャラクター「ゆりーと」が華麗なフォームでボウリングをしている銅像が東大和市駅前広場にあります。
ボウリングゆりーとは市内のいくつかのマンホールの蓋にその勇姿を見ることができます。
レアものですので、ウォーキングの際に探してみたいいかがでしょうか。

コラム

